



# スモールステップ



10月号

## 本校の情報教育について (GIGA 端末の活用)

情報教育部担当主幹 渡邊 慶

4月の学校だよりでお伝えした本年度の本校のGIGA端末の持ち帰りと学校内でのGIGA端末を活用した情報教育の近況についてお知らせしたいと思います。

持ち帰りが始まり半年が経とうとしています。まだまだ、始まったばかりということもあり、現在までは持ち帰りも数名でこれからさらに進めていくという状況です。

各学年様々なアプリをインストールし、使用を始めていますが、無料アプリだけではなく、どの学年も一つ以上の有償アプリについても各学年で実態に合ったものを検討し、ダウンロードして校内で活用しています。小学部の児童は、授業内で使用する時はアプリに取り組んでいる児童が多い様子です。有償アプリの種類に関しては「たのしい算数」「かたちパズル」「時計くみたてパズル」など取り組みやすいものを使っています。中学部でも、アプリを使っていますが、デジタルプリントやKeynoteでの課題に取り組んだりもしています。

本年度は調査したところ、全学年何らかの授業内で活用をしています。授業時間中全てで使うのではなく、個別課題の時間で使うことが多いです。中学部の授業では、全体学習で学習した後にGIGA端末で個別に確認し、理解を深めることも行ったりしています。例えば、パワーポイントやKeynoteを使ってクイズ形式で問題に答える課題を行うときには、アニメーションで動きを付けたり、音ができるなど、個に応じた様々な支援ができることで、個別最適に取り組む事ができるようになります。また、タッチペンを使ってデジタルプリントに文字を書く練習や文章問題を行う際にも、文字を大きくしたり、色を濃くしたり、すぐに消すことができるので課題に取り組むやすくなります。もちろん、今までの教材と上手く組み合わせながら進めていくことが重要と考えています。また、座って課題に取り組むことが苦手な児童生徒もタブレット端末だと集中して取り組めるようになることが多くあります。加えて、持ち帰ることで授業中の個別課題等で取り組んでいる教材を家庭でも取り組み、学習の積み重ねができるだけでなくデジタル機器に慣れることができるというメリットがあります。長時間使用しないように気を付けることも必要ですが、現代ではデジタル機器を使えるようになることは必要不可欠になりつつあり、これからは使えないと不便な場面もでてくることもあります。

これからもICT教材活用のメリットとデメリットの両方を考慮しながら、より良い学習方法を考え、実践していきたいと考えています。また、保護者の皆様からの御意見もお待ちしておりますのでどうぞ御協力よろしくお願い致します。